

「障害者のつくる品物フェア」を開催！

本日、杉並区役所（阿佐谷南 1-15-1）で、区内の障害者施設（全 26 箇所）でつくるネットワーク「すぎなみ仕事ねっと」による「障害者のつくる品物フェア」が開催されました。この催しの最も大きな目的は、障害者のつくる商品の販売を通じて、障害者の理解を深めてもらうことです。

本日 27 日、区役所では「障害者のつくる品物フェア」が開催されました。杉並区内には、障害者の通所施設 26 カ所でつくるネットワーク「すぎなみ仕事ねっと」があり、区と連携し障害者の工賃アップに取り組んでいます。施設で手作りした品物は、イベントなどで販売します。また、区役所や事業者から書類の封入や段ボール箱の組み立てなどの軽作業の仕事を受注して、施設利用者の工賃としています。本日のイベントも、障害者が手作りした品物を販売すること、そして、その丁寧な仕事ぶりを知ってもらうことで、今後の軽作業の受注拡大につなげようとするものです。



区役所 1 階ロビーには、色とりどりの商品が陳列されました。販売品は、どれも施設の利用者が、まごころ込めて作り上げたものばかりです。スカーフやTシャツ、アクセサリ、エコバックなどが手頃な金額で販売されていました。また、調理パンやクッキーなども人気の商品で、昼休みには区職員が昼食用にと買い上げていました。さらに、今回の販売会では、より多くの買い物客を呼び込むため、新たなディスプレイ方法を採用しました。雑貨店を経営している民間事業者の協力で、テントの骨組みを活用。立体的に商品を見せることができました。こうした消費者の目線を意識した配置に工夫、民間の専門性を取り入れることで、商品がより手にとってもらいやすくなり、「いつもより多く商品を持ってきたのに完売してしまった。」という、うれしい悲鳴となりました。

ディスプレイの工夫で、いつもより多くの買い物客が訪れ、品物づくりや接客を担当した障害者と買い物客との会話も弾みました。こうした交流を重ねることで、障害者への理解が深めることも大切な目的のひとつです。今後も、このような販売会は障害者が地域住民と交流できる機会として、積極的に開催していく予定です。

【問い合わせ先】

保健福祉部障害者生活支援課 電話 3 3 1 2 - 2 1 1 1（内線 2 2 7 4）